

ウェルおおさか

vol.120 2019.6 隔月発行(偶数月1日)

特集

「市民後見人」の活躍

～本人の身近で意思決定を支える～

- 図書・資料閲覧室からのお知らせ
- 講座案内



「市民後見人」の活躍

～本人の身近で意思決定を支える～



判断能力に不安があっても「自分のことは自分で決めたい」と誰もが願っています。しかし、その意思決定を身近に支えてくれる人がいなければ、適切なサービスが受けられなかったり、弱みにつけこまれ消費者被害に遭ったりするかもしれません。こうしたなか、注目されているのが、判断能力の十分でない人の意思決定や安定した暮らしを身近な立場で支援する「市民後見人」の存在です。今回は、市民後見人の活動や役割を中心に、判断能力が十分でない方の日常生活を支える社会について考えてみたいと思います。

任し、継続した研修や相談体制の充実など、専門的なバックアップのしくみで進めているのが特長です。具体的には、成年後見支援センターが、地域福祉の視点から身近な「市民」の立場で後見活動を行う「市民後見人」を養成し、専門職の協力を得ながら後見活動のサポートをしています。

権利を守り、実現する 成年後見制度

認知症や知的障がい、精神障がいなどが原因で判断能力が十分ではないと、医療・介護・福祉など生活の基本となるサービスの契約や更新ができなくなったり、消費者被害等の権利侵害にあたり、また、自らSOSを発することすらできなくなってしまう恐れがあります。

そこで、判断能力が十分ではない人たちに対して、家庭裁判所に選任された「成年後見人」が被後見人の意思を尊重し、権利を守り本人らしい生活を実現することを支援する「成年後見制度」がつけられました。「成年後見人」は、被

後見人に代わって金銭管理や日常生活における契約などの法律行為を行うのが主な活動で、専門職(弁護士、司法書士、社会福祉士等)や親族などが選任されています。

市民目線が強みの 市民後見人

市民後見人は、専門職後見人と同様に家庭裁判所から、「成年後見人」として選任された一般市民です。専門機関による養成と活動支援を受けながら、市民としての特性を活かし、キメ細やかな後見活動をしています。

大阪市の市民後見人の活動やしぐみは「大阪モデル」として、全国的に注目を集めています。市民後見人が単独で受

自分の将来のために やっておきたい

「市民後見人」として活動している人は、子育てが一段落した人や定年退職した人などが多く、これまでの知識や経験を活かして社会貢献型の市民活動として取り組んでいます。また、民生委員や地域の活動者が、日常活動の延長上で始めることや、「親の介護の経験から興味を持って」「将来、役に立ちそう」「次は私が支えられる番だから」など、自分の人生に関連付けた理由で始める人もいます。いずれも、ボランティア精神にあふれた市民後見人たちがそれぞれ、一人ひとりの人生に向き合っています。

P.3では、後見活動とやりがいについて、現在、活動中の市民後見人に聞いてみました。



▲大阪市成年後見支援センターの外観



▲市民後見人養成講座オリエンテーションの様子

成年後見支援センターが全面的にバックアップ

市民後見人になるには？

社会貢献に意欲と熱意のある市民なら誰でも

2007(平成19)年、大阪市が第1期養成講座を開講してから、今年で13回目を迎えました。第12期までの累計受講修了者数は447人、実際に市民後見人として活躍した人は、200人を超えています。

市民後見人になるには、資格は必要ありません。24歳以上68歳以下、市内在住または在勤者で社会貢献に意欲と熱意のある人なら誰でもチャレンジできます。

後見活動に関する知識がなくても、半年にわたる養成講座で、成年後見制度のしくみや大阪市の福祉行政、後見人の職務を学ぶほか、施設実習を行います。受講を修了し「市民後見人バンク」へ登録後も、年に約8回の研修がある

ので継続的にスキルアップができます。

家庭裁判所から「成年後見人」として選任されれば、いよいよ市内での活動がスタートします。

市民後見人の活動とは？

最期まで寄り添い 思いを聞き続ける

市民後見人の活動には、「財産管理」(財産管理に関する事務)と「身上保護」(生活、療養看護に関する事務)があります。身上保護では、本人のもとへの定期的な訪問、医療や介護のサービス等の契約・変更、引っ越しや入退院、施設の入退去にかかわる手続きなどを行います。

重要なのは、常に本人の意思を尊重し、その心身の状態や生活の状況に配慮しながら、本人の意思決定を支援する点です。担当する被後見人は1人。活動期間は、基本的に本人が亡くなるまで続きます。

どんなサポートがある？

ささいなことでも 一緒に悩んでくれる

市民後見人の活動は、選任されてから活動を終えるまで、成年後見支援センターが一貫してサポートします。日常的な活動での悩みや迷いは、その都度、センターへの電話や来所で相談できます。さらに、専門職(弁護士、司法書士、社会福祉士)からは、「専門相談」が受けられるほか、必要に応じて随時、相談することができます。

このほか、市民後見人同士が集まる「受任者懇談会」など、活動のモチベーションを高め合ったり、社会資源の情報交換をしたりする機会が用意されています。

大阪市の特徴は？

主体的に進められる ボランティア活動

大阪市の市民後見人は、ボランティア活動です。活動経費を除き、報酬はありません。他の自治体では、市民後見人の後見監督人として社会福祉協議会や専門職などが選任される場合がありますが、大阪市では、市民後見人は後見監督人が選任されることなく単独で受任しています。責任はありますが、主体的に活動を進められるのでやりがいを感じやすいといえます。

成年後見支援センターは大阪市とともに、成年後見制度の利用が必要な人が、適切な支援につながるために「権利擁護支援の地域連携ネットワーク」の構築を進めています。ネットワークの中には、ケアマネジャー、ホームヘルパー、地域包括支援センター、保健福祉センターなどでつくられる本人を支える支援者のチームがあります。市民後見人も、選任後は、このチームに加わり、本人の一番身近なところで、本人の意思を代弁し、意思決定を支援しています。

スケジュール オリエンテーションから活動終了まで

◆オリエンテーション(説明会)に参加する

◆市民後見人養成講座を受講する

※2019年度例

北区と西成区で開催

- 6月～8月 基礎講習(4日間)
- 9月 レポート・面接による選考
- 10～12月 実務講習(6日間)+施設実習(4日間)
- 1月 修了登録面接(登録意思の確認)
- 2月 修了登録式



◆「市民後見人バンク」へ登録される

年8回程度の登録者研修あり

※大阪市成年後見人等候補者検討会議から推薦依頼があり、バンク登録者の中から市民後見人候補を推薦。

◆家庭裁判所から選任される

◆成年後見支援センターが活動終了までサポート

◎市民後見人インタビュー

社会経験を積んだ定年退職者にも やりがいを感じられる活動です。

市民後見人 中元 良介さん



週1回、 30分ぐらい自宅を訪問

—市民後見人になろうと思ったのは？

自治体の職員として地域福祉や成年後見支援の事業に携わっていたことがあります。成年後見支援センターが開設され、多くの人が「市民後見人」として活動し、社会的にも認知されていくなか、これからどんな風に発展していくのか気になっていました。定年を迎えたとき、仕事でお世話になった弁護士の方から、「市民後見人をやってみないか」と背中を押されて、大変かもしれないけれど社会参加のひとつと考え、チャレンジすることにしました。

—どんな活動をしていますか？

預貯金の管理や支払いの手続きなどの財産管理、官公署などでの各種手続き、福祉サービスや入退院の手続きなどの契約。

もうひとつは、身上保護といって、定期的に訪問する見守り活動が中心です。週に1回、30分ぐらい、自宅を訪ねてお話を聞きます。障がいのため、聞

き取りにくいときもありますが、話された内容を一つひとつ理解して記憶していくと、ご本人が伝えようとしていることがわかってきます。

心を開かれ、 距離が縮まった

—支援のなかで変化したことは？

担当して約1年経った頃、ご本人の身内に不幸があり、いつもは訪問と手続きのサポートをしている私ですが、この時は、直接、見える形でご本人の望みをかなえて差しあげることができました。

それ以降、距離が縮まったのか、おいたちや故郷の話、仕事のこと、人には言えない過去も含めて、私が尋ねなくても積極的に話してくれるようになりました。いろんなことを心に持ちながら、今まで生きてこられたのだなと感慨深い思いでした。担当して3年が経ち、今は“お兄ちゃん”を支えている感じです。打ち解ける関係になれた喜びが、活動の原動力になっています。

—困ったこと・苦労したことは？

食事制限が必要な病気で、長年努力されてきました。それだけに「食べたいものを食べる」という気持ちが強くありました。食事は日常生活の基本。毎日(自分にとって)まずい物しか食べられないなら、楽しみを奪い、生活の質を落としてしまいます。そこで、通院している診療所、ケアマネさん、ヘルパーさんらからなる支援チームで、病状が急変した場合も速やかに対応できる連携体制を作ってもらい、ご本人が望む「食べたいものを食べられる」環境を整えています。

希望を引き出して 叶えてあげたい

—これからの活動は？

ご本人が「何かしたい」と言い出されない限り、何もないうままの日常になってしまいます。ご本人の身体の自由がきくうちに、望まれるところへ出かけてほしい。ご本人の希望が引き出せるように声をかけて、それが実現できるようにサポートしたいと思っています。

—やってみたい人へのメッセージを

楽しいから、ぜひやりましょう(笑)。定年退職をした男性の場合、退職後すぐに地域活動団体の輪の中に入るのはハードルが高いものです。その点、市民後見人の活動は、1人にしっかり寄り添い、最後まで支援できる。誰からの指示もなく、基本的には後見人の裁量で進められます。これまでの社会経験が役に立ちます。不安があれば、センターに相談すればいい。責任は重いですが、その分、やりがいがありますよ。



市民後見人だからできることがある

「意思決定支援のプロセスにおける市民後見人の役割の検証」
『大阪市社会福祉研究 第41号』2019.1(※)執筆代表者

向井 順子さん

※ 身上保護の活動を中心とする市民後見人のこれまでの活動について、意思決定支援の観点から評価・分析を行い、同心会の「研究奨励賞」を受賞。8月8日(木)開催予定の社会福祉講演会では、実践報告を行うとともに受賞作に関連した意思決定支援をテーマにした基調講演を予定している。



先駆的だった大阪の福祉

大阪市には「民生委員制度」や「日常生活自立支援事業」など、地域で支え合う取組みが先駆的に行われてきた歴史があります。市民後見人の養成・支援事業においても、学識者や三士会(弁護士、司法書士、社会福祉士)、行政職員による研究会を2006年に立ち上げ、毎月のように、新しい取組みについて議論を重ねました。2007年、成年後見支援センター(以下、センター)を開設し、市民後見人の養成・支援事業がスタートしました。初の養成講座には、500人を超える市民からの応募があり、翌2008年、大阪市市民後見人第1号が誕生したのです。

「市民」であることの利点とは

成年後見制度は、被後見人の財産管理を弁護士や司法書士といった専門職が担っているのが主流です。身上の保

護において、専門職後見人は、被後見人の日常からは疎遠であるため、意思を十分にくみ取るよりも傷病名や生活歴から専門的に判断して、被後見人の幸せな生活を「こうだ」と決めつけてしまう傾向がありました。

一方、市民後見人は、被後見人と同じ生活圏に住み、同じ空気を吸って暮らしているため、同じ市民としての意思を把握しやすく、引き出しやすいと考えられます。

「かけがえのない存在」になれる

判断能力が低下してくると、前に言ったことを忘れていたり、自分の思いをうまく表現できなかつたり、口に出した言葉が本心と少し異なったりすることがあります。市民後見人は、被後見人に寄り添い、行きつ戻りつしながら「本当にその人が望んでいること」を引き出します。被後見人の意思形成を促すため、情報提示の方法を工夫したり、質問の角度をかえたりしていくうちに、「本当に望む

こと」が明らかになります。被後見人にとって市民後見人は「かけがえのない存在」で、こうした市民後見人の活動を一貫して支援しているのがセンターです。支援に行き詰まったときは、センター職員と一緒に考えます。センターにふらっと立ち寄ったら話を聞いてくれる、電話をすると気軽に相談に乗ってくれる体制は市民後見人にとって心強いもの。12年も続いてきたのはセンターの存在があったからだといっても過言ではありません。

「支え合うしくみ」はますます重要に

被後見人から具体的な言葉で意思を引き出すことができたら、今度は、被後見人の意思を実現する支援が必要となります。被後見人を取り巻く、医療・福祉の専門職や地域住民、家族などからなるチームのなかで、市民後見人も、意思決定支援者の一人として活動します。市民後見人が、被後見人のそばで、被後見人の権利を守ろうとする姿勢は、チームの空気をよりよい方向へ変えていきます。

成年後見制度の理解が市民に浸透し、身近な親族、福祉・医療等地域の関係者と市民後見人がチームとなって、日常的に本人を見守り、本人の意思や状況を継続的に把握しながら、地域で支え合っていくしくみは、今後ますます必要になるでしょう。

この度は、研究奨励賞をいただきありがとうございました。市域の福祉施策を考える福祉部局において、福祉の「実践」と「理論」を結びつけることが重要であると考えておりましたところ、市民後見人や社会福祉協議会における福祉の実践が、意思決定支援という理論によりその良さが改めて検証でき、評価していただきました。市民後見人活動は、理論に裏打ちされた素晴らしい地域福祉活動であります。福祉現場のみならず、ぜひ、日々の活動の報告をお待ちしております。



講座案内

●市民向け講座 市内在住、在勤、在学の方

講座名	日時	受講決定	講師	内容	その他
【介護実習講座】 介護実習講座 入門コース	①7月13日(土) ②7月20日(土) ③7月27日(土) いずれも 13:30~16:00	開講日の約1週間前に受講 証をお送りします	専門学校講師、 介護福祉士など	初めて介護をされる方に、家庭での介護の 知識や技術を体験いただき、介護への関 心や理解を深めるコースです 【テーマ】 ①移動 ②食事介助・衣服交換 ③清潔介護	定員:各テーマ 20人(先着順) 希望される方は、 お問合せください 受講:500円(資料代) 受講当日に現金で申 し受けます
	①8月9日(金) ②8月16日(金) ③8月23日(金) いずれも 10:00~12:30				
ステップアップ(応用) テーマ別コース	①9月13日(金) ②9月19日(木) ③9月21日(土) ④9月26日(木) ⑤9月28日(土) ①10:00~12:00 ②~⑤10:00~13:00		①大阪市認知症 介護指導者 ②~⑤ 一般社団法人 幸せ介護創造ファクトリー 代表理事 高山 彰彦	入門コースを修了された方がテーマごと に介護の知識・技術を深めるためのコース です。受講するテーマは複数選択できま す ①認知症理解 ②移動(1) ③移動(2) ④排泄・着脱介助 ⑤食事介助	定員:各テーマ 20人(先着順) 希望される方は、 お問合せください 受講:100円(資料代) 受講当日に現金で申 し受けます

●市民向け講座の申込み方法▼

ハガキ・FAX・メールに次の必要事項を記入して、お申し込みください(当センターホームページや電話での申込みも受け付けます)
 [必要事項] ①講座名 ②名前(ふりがな) ③郵便番号・住所 ④年齢 ⑤電話番号 ⑥大阪市在住でない場合は、勤務先または学校名と所在地
 介護実習講座を申込みの方は⑦介護経験の有無(有の人は年数も記入)※介護職の方はお申込みいただけません。

●福祉従事者向け研修 申込み多数の場合は抽選です。締め切り後に、事業所あてに決定通知を送付します。

研修名	日時	受講対象者	講師	内容	その他
【キャリアパス研修】 初任者コース	8月9日(金)・ 29(木)・30日(金) 10:00~17:00	大阪市内の社会福祉関係施 設・事業所に従事する方	関西福祉科学大学 教授 橋本 有理子 講師 種村 理太郎 京都西山短期大学 講師 西川 友理	新任職員としての役割を遂行するための 基本を習得し、キャリアアップの方向を示 唆します	定員:50人 締切:6月28日(金) 受講料:9,000円+ テキスト代
	チームリーダー コース		8月19日(月) 9月17(火)・ 26日(木) 10:00~17:00	大阪国際福祉専門学校 教務主任 川東 光子 大阪教育大学 教授 新崎 国広	チームリーダーとしての役割を遂行す るための基本を習得し、キャリアアップの方 向を示唆します
一般職員対象 ストレスマネジメント を学ぶ	7月31日(水) 13:30~16:30		当センター メンタルヘルス相談員 臨床心理士 鈴木 博子	ストレス発生のメカニズム等の基本を学 び、援助者がストレスに適切に対処するた めのセルフケアの知識を身に付け、対人 援助者のモチベーション低下や燃え尽き を予防します	定員:50人 締切:6月26日(水) 受講料:1,500円
【メンタル研修】 主任・リーダー 職員対象	8月26日(月) 10:00~16:30	兵庫県対人援助研究所 主宰 稲松 真人	リスクマネジメントとは何かを学び、リス クを生みださない考え方や記録の書き方、 コンプライアンス(法令遵守)など具体的 に気をつける点について学びます	定員:50人 締切:7月29日(月) 受講料:3,000円	
【認知症介護研修】 大阪市 地域密着型サービス 認知症介護研修	①開設者コース 8月20日(火) 13:00~17:15 9月10日(火) 9:30~14:00 ②管理者コース 9月10日(火) 9:30~17:15 9月18日(水) 13:00~17:15 ③計画作成担当者 コース 9月18日(水) 12:30~17:15 9月19日(木) 10:00~17:15	※大阪市内の福祉事業所 の方に限ります ①開設者コース 地域密着型サービス事業 所の代表者 ②管理者コース 認知症介護実践者研修を 修了した、地域密着型 サービスの事業所の管理者 またはその予定者 ③計画作成担当者コース 認知症介護実践者研修を 修了した、小規模多機能 事業所の計画作成担当者 またはその予定者	大阪市 認知症介護指導者	地域密着型サービス事業所の開設者、管 理者及び計画作成担当者自身が、介護現 場が地域の中にあることの意味を考え、地 域というフィールドのなかで認知症の人を 支えるための組織の在り方・運営について 学びます	定員:90人 締切:7月24日(水) 受講料: 1コース5,500円 ※開設者コースを受講 する方は上記の金額+ 施設実習費として 3,000円が必要です。
【介護職員研修】 介護職援助の技術編 「初任者向け 介護技術研修」	8月17日(土)・ 22日(木) 9月5日(木) 10:00~17:00	大阪市内の福祉事業所で 高齢者等の介護に従事し、 介護実務年数が概ね3年未 満の介護職員	一般社団法人幸せ介護 創造ファクトリー 代表理事 高山 彰彦	施設や在宅などさまざまな介護現場で求 められる基本的な介護技術について、実 習を通して学びます	定員:20人 締切:7月19日(金) 受講料:9,000円
【組織運営・ 管理研修】 心をつなぐ コミュニケーション	8月21日(水)・ 28日(水) 10:00~16:30	大阪市内の社会福祉関係施 設・事業所に従事する方	TEAM-EXE 代表 パフォーマンスアップ コーチ ナカムラ トモコ	プライベート、チームや組織などの場面 でも信頼関係を築いていくために、コミュ ニケーション技術を磨くことを目的とする	定員:各40人 締切:7月17日(水) 受講料:各3,000円
【福祉人材確保 支援研修】 求人力・広報力 向上研修	7月18日(木) 13:30~16:30		大阪城南女子短期大学 人間福祉学科学科長 教授 前田 崇博	採用実績をあげている事例を参考に、求 人方法、採用の取組みについて学び、演習 (情報交換)を通して勤務する施設・事業所 の強みや弱みを分析し、求職者を惹きつ ける情報提供や発信の方法について学ぶ	定員:50人 締切:7月5日(金) 受講料:無料

*日程及び締め切りは、主催者の都合で変更する場合があります。

●福祉従事者向け研修の申込み方法▶当センターのホームページから申込み、申込用紙をダウンロードしてFAXでお申込みください

上記の会場・申込・問合せ先

大阪市社会福祉研修・情報センター 〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20

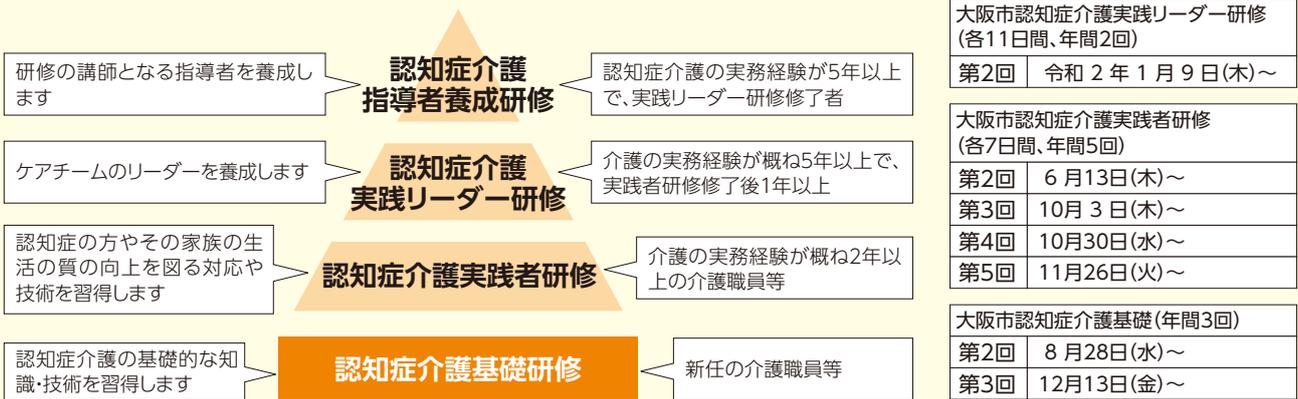
☎06-4392-8201

FAX06-4392-8272

🌐http://www.wel-osaka.jp

✉kensyu@shakyo-osaka.jp

認知症介護実践研修のご案内



問合せ先／大阪市社会福祉研修・情報センター 企画研修担当 〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20
☎06-4392-8201 ☎06-4392-8272 ✉kensyu@shakyo-osaka.jp

福祉職員の 大阪市社会福祉研修・情報センター **メンタルヘルス相談**

ひとりで悩まずに
まずはお電話を



お気軽にご相談ください。秘密厳守

疲れやすい、やる気が出ない、眠れない、対人関係がうまくいかない…など、仕事上のストレスなどから生じる**悩みの相談窓口**です。ご本人だけでなく、同じ職場の上司や同僚の方から相談いただくこともできます。

- 対象／大阪市内在住又は市内にお勤めしている福祉職員
- 相談方法／電話または来所(まずは、ご予約ください)
- 相談日時／毎週土曜日と第1・3水曜日
土曜日の場合は、祝日も実施(年末年始は休み)いずれも午前9時30分～午後4時
- 相談員／臨床心理士 ●相談料／相談無料

相談・予約電話

ハローサンキュー

06-4392-8639

✉k-kanri@shakyo-osaka.jp

予約方法 上記番号へお電話ください。

平日 9時30分～21時

土・日 9時30分～17時



来所による相談に加え、大阪市内の社会福祉施設への福祉職員対象のメンタルヘルスに関する出張研修を始めました。(追加で個別相談も可能) センターにご相談ください。☎06-4392-8201

福祉・介護専門職のキャリアアップをサポート!

福祉・介護職員のキャリアデザインノート 受講履歴管理手帳

定価 **600円**(税込)

福祉援助職として、プロフェッショナルの力を高めるため、生涯にわたる学びを指し示す「大阪市福祉関係従事者生涯研修体系図」と、これまでの研修受講が記録できるシートがセットになった「福祉・介護職員のキャリアデザインノート 受講履歴管理手帳」を販売しています

- (内容)
- ◆A4判・リングファイル ◆人生カレンダー
 - ◆キャリアデザインシート(ワークシート編)2ページ
 - ◆大阪市福祉関係従事者生涯研修体系図
 - ◆受講履歴管理ページ(受講履歴シート編)9ページ
 - ◆ビニールファイル4枚

発行者：大阪市福祉人材養成連絡協議会
大阪市社会福祉研修・情報センター

これ1冊に
受講履歴を
ファイリング。
修了書や研修資料を
まとめて
保存できます!



問合せ・申込み先：☎06-4392-8201 ☎06-4392-8272 ✉kensyu@shakyo-osaka.jp

同心会が「研究奨励賞」「会長賞」を授与

同心会(会長 右田紀久恵:大阪府立大学名誉教授)では、大阪市内で社会福祉の実践を行っている団体、グループ及び個人が自発的に研究活動を行い、その成果をまとめた「大阪市社会福祉研究第41号」の掲載論文から、特にその内容が優秀と認められたものに対して、3月28日(木)、大阪市社会福祉研修・情報センターにおいて「研究奨励賞」「会長賞」を授与しました。



研究奨励賞

◆意思決定支援のプロセスにおける市民後見人の役割の検証

向井 順子/村井 智子/川平 昌美/横野 雅子/石本 佳那

会長賞

◆更生施設が担う役割と機能の変化～更生施設淀川寮の取り組みを中心に～

柏原 一樹

◆大阪市北区役所における職員の福祉教育

～全職員が認知症サポーターになる試み～

武市 佳代/小阪 勉/内村 ひとみ/高田 郁子/酒井 礼子/田中 希久央/
坂上 里絵

大阪市内の福祉活動の 実践報告「福祉の今を知る！」

同心会社会福祉研究
研究奨励賞受賞論文より

日時/令和元年8月8日(木) 午後1時30分～

場所/大阪市社会福祉研修・情報センター 5階 大会議室

基調講演/「ターミナルにおける意思決定支援」(仮)

講師/松本診療所(ものわすれクリニック) 院長 松本 一生

実践報告コーディネーター 国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究所 教授 白澤 政和

申込方法など詳細については、6月中旬よりセンターホームページなどでお知らせします。

大阪市社会福祉研究 第42号 「研究論文」及び「実践報告」募集 期間延長

年刊研究誌「大阪市社会福祉研究」では、市内で社会福祉の実践を行っている団体、グループ及び個人が自発的に研究活動を行い、その成果をまとめた「研究論文」及び「実践報告」を募集しています。

【募集範囲】

- ①大阪市社会事業施設協議会に加盟する各施設の職員
 - ②大阪市社会福祉協議会及び各区社会福祉協議会の職員
 - ③大阪市福祉局・子ども青少年局及び各区保健福祉センターの職員
 - ④大阪市内で社会福祉の実践を行っているグループ、個人などで大阪市社会福祉研修・情報センター所長が認める者
- ※いずれも、個人による研究のほか、グループによる共同研究・執筆も可とします。

【原稿内容】

- ①テーマは「社会福祉」の範囲とします。
- ②研究論文、研究ノート、実践報告等、福祉の実践のうえで生起する諸問題について、その解決のための示唆や方向づけを与えるものとします。
- ③原稿は、未公開(未発表)のものに限ります。

【原稿字数】

参考文献・図表等も含め、18,400字以内(パソコンで作成された原稿)とします。

【応募方法】

所定の応募用紙により、6月10日(月)までに下記センターへ「応募用紙」をお送りください。原稿の締め切りは7月20日(土)とし、提出論文から編集委員会にて掲載論文を選定し、掲載候補となったものについて、あらためて「執筆依頼」を送付します。

【その他】

- ①「大阪市社会福祉研究」への提出論文については、政治的・宗教的活動に使用しないこととします。
 - ②「大阪市社会福祉研究」に掲載された論文及び実践報告について審査し、優秀と認められた場合に、同心会より研究奨励賞、研究努力賞、会長賞が授与されます。
- ※「応募用紙」は、ホームページのお知らせ欄よりダウンロードできます。



●申込先・問合せ先▶

大阪市社会福祉研修・情報センター

〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20 ☎06-4392-8201 FAX06-4392-8272

✉kensyu@shakyo-osaka.jp 🌐http://www.wel-osaka.jp/

図書・資料閲覧室からのお知らせ

図書・DVD新着情報

図書紹介

『精神科医が教える 『がんばらない老後』のすすめ』

保坂 隆 著
廣済堂出版 2018年

のんびり手を抜いて、気楽に生きよう！人間関係、お金、家事…少し適当でストレスのない「第二の人生」の楽しみ方を紹介。



『看護・介護現場のための 高齢者の飲んでいる薬がわかる本』

秋下 雅弘・長瀬 亜岐 著
医学書院 2018年

風邪薬で尿閉？睡眠薬で転倒？高齢者のそばでケアをしているからこそ気づく「本当にこれでいいのかな」というもやもやが解消。これだけは知っておきたい薬の知識を厳選して紹介する。



『発達障害の人の 『片付けスキル』を伸ばす本』

村上 由美 著
講談社 2018年

片づけるために必要なステップは、3つだけ！片付けが苦手な発達障がいの人にも、「片づけスキル」を身につければ、生活するのが楽になる！



DVD紹介

『認知症を生きる高齢者との コミュニケーション』第1巻・第2巻

新宿スタジオ 1巻28分・2巻29分 2016年
認知症を患った高齢者とのコミュニケーションについて、障がいの適切な把握と、心を理解する必要性を説いた内容。



『きょうの健康 “耳の病気”耳の聞こえ 大丈夫？』

NHKエンタープライズ 58分 2014年
NHKの健康情報番組「きょうの健康」の内容を再構成したDVD。中耳炎などの耳の病気についてや、補聴器と上手につきあう方法などを紹介。



『しあわせの絵の具 愛を描く人 モード・ルイス』

松竹 116分 2019年

「カナダで最も有名な画家の、喜びと愛に満ちた真実の物語」重いリウマチを患いながらも、絵を描くことが好きな女性・モード。自立のために、住み込みの家政婦として働き始める。雇い主のエベレットとの同居生活は、トラブル続きだったが…。



★「対話技術」関連本を紹介★

対人援助の現場で使える 聴く・伝える・共感する技術 便利帖

介護・福祉・医療関係で働く専門職や対人援助に関わる方の仕事に役立つ「傾聴の技術・伝える技術・共感の技術」をやさしく、分かりやすく解説。

大谷 佳子 著 翔泳社 2017年



ケアする人の対話スキルABCD

ケアにおける対話が何であるかを述べるだけでなく、対話スキルについて解説。対話の流れが、ABCDの順に進む4つのステップからなるので分かりやすい。

堀越 勝 著 日本看護協会出版会2015年



大阪市社会福祉研修・情報センター2階にある「図書・資料閲覧室」では、社会福祉に関する書籍などを無料で貸し出しています（認知症、介護技術、手話のDVDや、福祉関係雑誌などが充実しています。）



●図書・約18,000冊 ●DVD・約940本 ●雑誌・約28種類

開室時間／月曜日～土曜日（祝日、年末年始は除く）午前9時30分～午後5時

貸出期間／2週間（図書・雑誌等は5冊、DVD・ビデオは5本まで）

利用資格／貸出し期間（2週間）内に、来館しての返却が可能な方

※郵送での返却はできません

※初回の登録時には、住所・名前などの証明ができる本人確認書類（免許証・保険証など）をご持参ください

問合せ先／☎06-4392-8233 お電話で図書・DVDの予約も承ります



かしこく食べよう!ゲンキをつくろう! 「栄養バランスを考えましょう」

生涯にわたって健やかで豊かな生活を過ごすためには健全な食生活の実践が重要であり、一人ひとりが栄養バランスに配慮した食事をとる必要があります。毎食「主食・主菜・副菜」をそろえて食べる食習慣を実践しましょう!

主食
ごはん・パン・麺
などを使った料理

主菜
肉・魚・卵・大豆製品
などを使った料理

副菜
野菜・いも・きのこ・
海藻などを使った料理

大阪市 栄養バランス 検索

LINE たべやん 食育スタンプ 販売中!

大阪市食育推進キャラクター「たべやん」がスタンプになったで!「たべやん」で毎日をおいしく楽しく過ごそう!
LINEスタンプショップ内「たべやん」で検索!
※クリエイターズ欄に表示されます。
次のQRコードから購入できます。



問合せ▶大阪市健康局健康推進部健康づくり課 ☎06-6208-9961

あなたのお口は健口(けんこう)ですか?

歯周病は、気付かないうちに徐々に進行していくことから「沈黙の病気」とも言われており、成人期以降に歯を失う一番の原因になっています。また歯周病は、肥満、糖尿病、心疾患、脳梗塞など、全身の健康と関連があることが分かっています。

自分の歯でおいしく食べられることは人生の楽しみのひとつです。歯周病にならないようにするために、定期的に歯周病検診を受けましょう。

■大阪市で受けることができる歯周病検診と相談

●歯周病検診(問診・口腔内診査)

- 対象 40・45・50・55・60・65・70歳
(昭和24・29・34・39・44・49・54年の1/1~12/31生まれ)の大阪市民
- 費用 500円(生活保護世帯・市民税非課税世帯の方は無料)
- 場所 市内取扱歯科医療機関(要予約)

●歯科健康相談(個別相談)

- 対象 大阪市民
- 費用 無料
- 場所 各区保健福祉センター



大阪市では歯周病検診以外の検診も実施しています

種別 胃がん検診、大腸がん検診、肺がん検診、子宮頸がん検診、乳がん検診、骨粗しょう症検診
対象等 対象者や費用等がそれぞれ異なりますので、詳しい内容は下記までお問い合わせください。

問合せ▶大阪市健康局健康づくり課(成人保健グループ) ☎06-6208-9943

今月の自助具

電動歯ブラシ用ロングホルダー

主な適応疾患・対象者▶

- 筋ジストロフィーや頸椎損傷の方など、歯ブラシがうまく使えない方

機能・特徴▶

- 歯ブラシを動かす動作が困難になった方が、ロングホルダーに差し込んだ電動歯ブラシを用いることにより、手をあまり動かさなくても顔を動かすことで歯を磨くことができる。
- ホルダーは腹の位置で固定して、歯ブラシが口元まで届く長さ。(全長約40センチ)
- 電動歯ブラシをホルダーに差し込むだけで、簡単に付け外しができる。
- 筒状でシンプルな構造なので丸洗いができる。

使い方▶

- 電動歯ブラシをロングホルダーに差し込んでセットし、ブラシに歯磨き粉を付けてスイッチを入れ、歯ブラシを口に含む。
- 手をあまり動かさなくても、顔を動かすことで歯磨きができる。



資料提供・問合せ▶特定非営利活動法人 自助具の部屋

☎06-6777-6844 (月・水・金 10:00~15:00)

NPO自助具の部屋ホームページ▶



健康生活 応援グッズ

さまざまな生活動作をサポート

天井と床で突っ張るだけの
簡単設置で、
しっかりと固定できる



●垂直型手すり パディー

天井と床で突っ張らせて固定するので単体で使用するほか、複数本を連結して使用しても抜群の安定性を発揮します。

ベッドサイド等での
立ち上がり、移乗が
不安な方に



●たちあっぷⅡ ひざたっち

大きな手すりで体を支えられて、膝当てで膝を支えることでご自身の立ち上がりをサポートします。介助者にとっても、手すりをを使って立ち上がってもらうことで、腰を支えるだけの負担の軽い介助が可能です。

人間工学に基づいて
設計された
洋式便器用手すり



●トイレエイド・ネオ

便器本体に直接固定するタイプなので、足元に障害がなく安心です。洗浄機能付きトイレにも対応。優れた取っ手の位置と形状が、自然な体の動きを的確にサポートします。

問合せ

公益社団法人関西シルバーサービス協会 事務局
〒542-0065 大阪市中央区中寺1-1-54

大阪社会福祉指導センター内

☎06-6762-7895 ☎06-6762-7894

http://kansil.jp

みおつくし福祉・介護の仕事きらめき大賞

大阪市では福祉・介護の現場で働く皆さまから
仕事のやりがいや魅力が伝わるエピソード作品を募集します

募集内容 福祉・介護の現場で働く職員が、職務において経験した、福祉・介護の仕事の魅力が伝わるエピソード(体験談)

応募資格 高齢者、障がい児・者を支援する施設・事業所または児童入所施設等で利用者支援を行う職員
(注)詳細は下記QRコードからホームページ参照

募集期間 2019年4月25日～7月12日
(当日消印有効)

募集要領・応募用紙はこちら! 



大阪府 × 大阪アニメーションスクール専門学校

本イラストのデザインは、昨年度を受賞作品をもとに、大阪アニメーションスクール専門学校のご協力によって制作されたものです。



そと、さと、あんしんを サービス介助士 令和元年 受講生募集

無料体験会(講座説明会)のお知らせ

「おもてなしの心」と「介助技術」の普及を目指したこの資格は、おかげさまで多くの支持をいただいております。
～資格取得者数17万人突破間近～

●説明会開催日	サービス介助士	防災介助士	認知症介助士
6月10日(日)	15:30～16:30	17:00～18:00	適宜
7月8日(日)	18:00～19:00	17:00～18:00	適宜
8月19日(日)	15:30～16:30	17:00～18:00	適宜

説明会では、サービス介助士について詳しくご説明いたします。また、あわせて「防災介助士」「認知症介助士」についても同日に説明いたしますので、個人はもちろん、企業・学校ご担当者様のご参加もお待ちしております。



- 実技教習は北海道～沖縄にて開催中お好きな会場を選択可能!
- サービス介助士資格取得が企業のSDGs(持続可能な開発目標)推進に寄与します!

■ご予約お問い合わせは、以下よりお願いいたします
公益財団法人
日本ケアフィット共育機構 大阪事務所
〒542-0083 大阪府大阪市中央区東心斎橋1-7-30
☎06-6251-6101(月～金 9:15～18:15・土日祝休)
🌐https://www.carefit.org/form/class_apply/(サービス介助士)
🌐https://www.carefit.org/form/bousai_class_apply/(防災介助士)

(広告)

東神実業株式会社

一九五〇年創業以来、聴こえのコンサルタントとして、難聴・失聴に悩む方々の身になって、研究と普及活動に努めてまいりました。
これからも、一人ひとりのお聞えに合った補聴器選びをお手伝いいたします。

聴こえる喜び、
トーンからー。

聴こえてコミュニケーションをサポートする
トーン・補聴器センター

<http://www.toshin-ha.co.jp>

本社 大阪市西区西本町2丁目4番7号 (06)6531-2541

天王寺店 (06)6779-0033	梅田店 (06)6345-2833
堺東店 (072)222-3324	東大阪店 (06)6787-4133
高槻店 (072)683-3341	豊中店 (06)6853-4133
岸和田店 (072)438-4133	枚方店 (072)804-3311

この広告をお持ち頂いた方に限り、補聴器希望小売価格より10%引きさせていただきます。
※相談・試聴は無料!!お気軽にご来店下さい。

**補聴器本体
希望小売価格より
10%引き**

(広告)

CENTER INFORMATION

大阪市社会福祉研修・情報センターのご案内

開館時間 / 午前9時から午後9時まで(土・日曜日は午前9時から午後5時まで)

図書・資料閲覧室は午前9時30分から午後5時まで(月～土曜日)

休館日 / 国民の祝日(土・日曜日と重なる場合は除く)、年末年始(12月29日～翌1月3日)

項目	直通電話番号	お問合せ時間
会議室など利用の問合せ	06-4392-8200	午前9時～午後9時(土・日曜日は午後5時まで) (会議室の申込・お支払いは午前9時30分～午後5時)
研修関係の問合せ	06-4392-8201	午前9時～午後5時
図書・資料閲覧室の問合せ	06-4392-8233	午前9時～午後5時

貸室ご利用の皆様へ

1 空室状況をホームページに掲載しています。

空室状況は、ホームページの「貸室のご案内」→「空室一覧」に、PDFで6か月分掲載。

ウェルおおさか

2 利用申込の受付は6か月前からです。

利用日の6か月前(6か月前の同じ日)から、電話や窓口で予約いただいたうえ、所定の用紙で申し込みください。

受付時間は午前9時30分から午後5時まで

☎06-4392-8200

FAX06-4392-8206

※FAXでの申し込み可能な期間は、利用日の6か月前の午前9時30分から利用日の3日前までです。



■会議室等の使用料

利用できる貸室および料金は、次のとおりです。ご予約は利用日の6か月前からです。

室区分	利用人員のめやす	時間区分	午前	午後	夜間	昼夜間
			9:30～12:30	13:00～17:00	18:00～21:00	9:30～21:00
4階	会議室	99	3,800	5,100	3,800	11,400
	会議室 東	45	1,900	2,600	1,900	5,800
	会議室 西	54	2,900	3,800	2,900	8,600
	介護実習室	36	5,700	7,600	5,700	17,100
	演習室	18	1,000	1,300	1,000	3,000
5階	大会議室	144	5,800	7,700	5,800	17,400

(単位:円)

交通 / ご来所には【大阪シティバス】【JR】【地下鉄】をご利用ください

大阪シティバス
「長橋二丁目」バス停すぐ
52系統(なんば～あべの橋)

JR大阪環状線・大和路線
「今宮」駅から徒歩約9分

地下鉄・四つ橋線・御堂筋線
「花園町」駅(①・②出口)から徒歩約15分
「大国町」駅(⑤出口)から徒歩約15分

所在地 / 〒557-0024 大阪市西成区出城2丁目5番20号
設置主体 / 大阪市
運営主体 / (指定管理者)
社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会
電話 / ☎06-4392-8200(代表)
ファックス / FAX06-4392-8206
URL / http://www.wel-osaka.jp/

Facebookもチェック



「ウェルおおさか」に広告を掲載しませんか

詳しくはお問合せください ▶ 大阪市社会福祉研修・情報センター
☎06-4392-8201 FAX06-4392-8272 ✉kensyu@shakyo-osaka.jp

人権啓発キャッチコピー

【テーマ】高齢者をめぐる人権

高齢者 元は社会の 貢献者

うちやま れんた
内山 蓮大さん(平成30年度「人権に関する作品募集事業」キャッチコピー 高校生の部 優秀賞)